

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係18 沖縄返還交渉 機密漏洩事件（国会対策等）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-12 キーワード (Ja): 檜崎弥之助, 青木正久, 栗山条約課長, 佐藤総理, マイヤー大使, 愛知外務大臣, 吉野・井川・スナイダー会談, 信託基金 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43730

4.

「機密保持」の意見

(吉野了介局長)

3/3 次方へ提出。
註の字配布。

秘
無期限

機密保持問題についての意見

昭和47年3月30日

森 事務次官 殿

吉野アメリカ局長

1. 来電の配布部数を大巾にへらすこと。
往電の回覧先もできるだけへらすこと。
(連絡をよくすることと機密保持とが両立しない面もあるが、二者択一ということになれば後者をとるほかない。)
2. 新聞記者が音もなく目の前に立つという状況はなんとか改善できないものか(課長、事務官の場合)。
3. コピーの管理責任体制の確立。
(各課(さしあたり主要関係課からはじめる)にシュレッダーを備えつけること。)
4. 庶務要員(付きを含む)の配置転換を随時行なうこと。
5. 少なくとも局長室については防音を確保すること。(ベニヤ板体制の解消)

(注) 上記3. に関し、シュレッダーが備えつけられるまでの間、現行の文書焼却方法を再検討して厳重な焼却体制を確保する。

写送付先

官房長

官総参事官(官房書記官)

人事課長兼文書課長

会計課長

秘

機密保持問題についての意見

森事務次長

吉野アメリカ局長
昭和47年3月30日

1. 来電の既読部数も大巾にへらすこと。
往電の回読迄もできるだけへらすこと。
(連絡をよくすることと機密保持とが両立しない面もあるが、二巻扱
一ということになれば後者をとるほ
かない。)
2. 新聞記者が昔もなく目の前に立つと
いう状況は何とか改善できないもの
か。(課長、事務官の場合)
3. コピーの管理責任体制の確立。
(~~重要~~課人にシュレッダーを備えつかること。
各 (せしめたりも要領係課から始める))
4. 庶務要員(付きを含む)の既読転換
を随時行なうこと。
5. 少なくとも局長室については防音を
確保すること。(バッチ板体制の解消)

注. 上記3.に附し、シュレッダーが備えつけ
られる迄の間、現行の文書焼却方法
を再検討して厳重な焼却体制を確
保する。

宇送付先

官房長

官房次官(官房事務)

~~官房次官~~

入事課長兼文書課長

会計課長